決算審査

企画部

職員配置について

問　職員 24 人減による行政サービスへの影響と、今後の人員配置は。

答　必要な人員は確保しており、業務量調査を基に適切な配置を検討する。

業務量調査について

問　業務量調査で、特に業務負荷が高かった部署と今後の対応は。

答　税務課、保険年金課、児童課などで多く、業務プロセスの見直しを進める。

行政 DX について

問　行政 DX による業務効率化は、どのような業務から進めるか。

答　データ入力や受付など、定型的・反復的な業務から優先して見直す。



▲自治体 DX のイメージ

総務部

将来負担の抑制と健全な財政運営について

問　将来負担比率が 96％まで上昇した要因と今後の対応は。

答　地方債などが要因。事業の優先順位を精査し、将来負担の抑制を図る。

問　経常収支比率が 90％を超える中、どの経費を見直すか。

答　人件費等の増加もあり、公共施設や事務事業など経費全般を見直す。

問　市有地の貸付収入が増えた要因と、今後の未利用地の活用は。

答　県や民間企業への新規貸付によるもの。今後も有効活用を図る。

問　市税の収入未済額縮減と収納率向上にどう取り組むか。

答　早期催告や財産調査、差押えを行い、税務・収納両課の連携を強化する。

建設部

三ツ又池公園の芝桜について

問　三ツ又池公園の芝桜が十分に根付かなかった要因と今後の対応は。

答　高温や雑草の繁茂などが要因。状況により他の植物への変更も検討する。



▲三ツ又池公園の芝桜

自由通路整備事業について

問　自由通路整備事業の国庫補助金と、市の負担はどうなったか。

答　8,870 万円の要望に対し 5,075 万円が交付されたが、結果的に市負担は減少した。

問　JR・名鉄弥富駅自由通路・橋上駅舎化整備事業の今後の見通しは。

答　令和 11 年度の自由通路及び駅舎の供用開始を目指し、事業を進める。

農業集落排水の経費改善について

問　農業集落排水の経費回収率約 50％をどう改善するか。

答　使用料見直しや公共下水道への編入など、経営改善を検討する。

下水道使用料の見直しについて

問　下水道使用料の見直しは、今後どのように進めるか。

答　審議会で検討し、令和 9 年 10 月頃の答申、12 月議会での条例改正の提案を予定している。